

## 第2回くるりん広場交流会

### 活発な活動の報告と情報交換・交流

安曇野市を中心に市民活動を推進している団体と市民が集う交流会を9月8日（土）くるりん広場で開催しました。約30名が参加して、活動内容の報告やパネル展示、交流会でまちづくりの現状を共有しました。

地域課題に取り組む市民団体の着眼点、事業展開など相互に理解し合っ、連携する動きも出てきました。安曇野市のまちづくりを進める機会になる様に、市民活動団体の皆様と力を合わせて続けていきます。

#### ◆ 活動報告

お母さんが元気なら子どもも元気になるというコンセプトで子育てを支援しているNPO法人子育て支援ばおばおの小口茂子理事長から事業の説明がありました。また小学5年生を対象に五感を使って味わう事の大切さや楽しさを体験できる「味覚の授業」講座を展開している安曇野調理師会の豊田修身代表から活動の報告がありました。さらに、県が推進している家庭機能を補完する“一場所多役”の子ども居場所づくりを推進する「信州こどもカフェ」に関する報告がありました。



様々な形で子どもの健全育成に取り組んでいることを再認識しました。

#### ◆ 交流会



交流会に先立ち全員が参加して、生け花作品を作るワークショップが「いいな安曇野花サロン」により行われました。用意された生花からお好みのものを選んで花瓶に想いを込めて生けました。出来栄は素晴らしく感動を共有することが出来ました。交流会では3つのグループに分かれて所属団体の活動内容を紹介して意見交換をしました。

お互いの活動内容を知る機会になり活発に意見が交わされました。お互いに協働してより良い活動展開になる様に連携のできる内容を模索していました。企画している行事に出演を依頼したり、出演に応じたり各団体の協働の兆しがありました。



#### ◆ パネル展示

12団体が活動内容を取りまとめて掲示し、その説明がありました。自然環境を守り・育てる活動、シニアの活躍、障がいのある方々の外出支援、子育て支援、高齢者支援など幅広い分野の活動内容が紹介され、市民活動の広がりを示していました。

コーナーでの説明に参加者は頷いたり、質問したりして活動内容を把握していました。



今回の展示物は10月23日から11月2日まで市庁舎1階のフリースペースに展示される予定です。



## レポート

### 松本地域子ども応援プラットフォーム研修会開催 より良い子どもの生活環境を求めて研修

8月26日（日） ■主催 松本地域子ども応援プラットフォーム  
■場所 安曇野市堀金公民館

子ども応援プラットフォームとは、県、市町村、NPO 関係機関、支援団体、民間企業ボランティアなどの多様な主体により構成され、地域が一体となって子どもの居場所づくりを推進する連携・交流組織です。

研修会にはプラットフォーム構成団体の代表、市職員など約 20 名が参加しました。認定 NPO 法人長野県みらい基金の高橋潤理事長が「長野県子どもと子育て家庭の生活実態調査」のアンケート結果分析を解説しました。アンケートから子育てが大変だと感じる課題が抽出され、この結果に関して参加者から多くの意見が出されました。課題としては経済的条件の克服や学習習慣などが指摘され、意見としては「子どもを見守る姿勢が大切」、「子どもの学習を見るなどの親の意識が重要」などがありました。

その他、地域の本質的なニーズに沿っているか、当事者を理解しているか、問題の構造を把握しているかなどの視点からの分析もありました。



## くるりん講座

事例で学ぶ地域づくり

入山辺地区の将来ビジョンを考える会活動について

8月25日（土） ■場所 安曇野市市民活動サポートセンター「くるりん広場」



入山辺地区は松本市街地から美ヶ原高原へ抜ける途中にある868世帯、人口1,993人の集落です。

平成23年当時、「人口減少」、「農業後継者不足」、「公共交通の縮小」などの地域課題がひっ迫し、「早く手を打たないと地区の存続が危ぶまれる!」と考えた有志、町会役員が市職員の協力を得て「入山辺地区の将来ビジョンを考える会」を設立したそうです。会長の遠山重治さん

に会の成り立ちから現在進めている「観光と魅力発信グループ」、「食農振興グループ」、「住みやすい地域づくりグループ」、「イベントグループ」の4事業を中心にお話を聞きました。事業を企画するにあたり、地域課題を見つめ直し、現在の課題や目的に即した活動とするため、松本大学白戸洋教授による講座を毎月開催しているとのこと。その結果毎年成果が上がっており、最近ではワイナリーの案内看板やガイドマップを作り、集落案内看板（25集落）も設置して地域がますます活性化している様子が報告されました。

今後の課題としては「若い世代の参画」、「次世代リーダーの育成」、「地域全体への活動の広がり」「活動を継続していくための財源の確保」をあげ、基本理念の「住んでみたい、訪れてみたい、入山辺」を目指した活動を実践していくと結んでいました。今回は区運営の参考になる事から区役員、関係者が多く、30名を超える参加者がありました。


 こんな活動をしています

 公益財団法人長野県長寿社会開発センター松本地区賛助会 **安曇野地域会**

安曇野地域会は平成23年4月、38名の地域会員で、「地域に社会貢献をする、スポーツで健康づくりをする。文化、学習会で、己を磨き、生きがいを作る」を目的に発足しました。現在8年目を迎え148名となっています。

特徴の1つは全員が長寿社会開発センターの賛助会員になっていること、2つ目は5つの委員会で12部会を作っていることです。

- 健康づくり委員会、マレットゴルフ、ボーリング、ウォーキング部会
- 学習委員会に、パソコン、料理、エコ、陶芸教室部会
- 文化委員会に、カラオケ、童謡唱歌、小旅行部会
- 社会貢献委員会では、毎月一回ボランティア活動を市内の社協、児童館、老人施設、市庁舎等を回って行っています。
- 広報委員会では、年3回、カラー刷りの会報を発行し、全会員に活動報告をしています。

今年度は少し嬉しい出来事がありました。ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰に応募したところ、県の推薦団体に選ばれ、6月県庁で中島恵理副知事から顕彰金を授与される栄誉に浴しました。

長年頑張ってきたボランティア部会の仕事と、その他の部会の活発な活動が認められたことを喜んでいます。

今後は高齢化しているメンバーが、いかに楽しく負担なく各種事業に参加していくかが課題になると感じています。



ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰報告会で  
中島恵理副知事から顕彰金受賞

(安曇野地域会グループ長 竹澤とき子)


 ◇ 新規登録団体紹介 ◇

**三郷郷土研究会**

三郷の自然と歴史を研究し、郷土の文化の向上に資することを目的としている会です。

『三郷村誌Ⅱ』の刊行にあたり、その編纂を手がけた仲間を中心に、村誌の内容をより深めていこうということや、調査活動・執筆活動を担当した分野以外のことももっと知りたいなどといった声があがり、休眠状態だった研究会を再出発

代表者	千国 温
連絡者	三澤 晴男
住所	〒399-8101 安曇野市三郷明盛4903-5
電話	0263-77-3175 0263-77-3175
E-mail	misawa.330@crux.ocn.ne.jp



秋季講演会

させたのが三郷郷土研究会です。

三郷地域を中心に、①古文書を読む ②石仏石碑を調べる ③民話を楽しむ ④村誌を読む ⑤ホテルを観察する ⑥古城探訪する ⑦堰古道を調べる ⑧郷土料理を作る の8グループに分かれてそれぞれ調査活動などをすすめています。初心者からベテランまでお互いに助け合いながら、和気藹々に活動しています。

## イベント情報

### ● 第27回ふるさとウォッチング in 安曇野

- 日 治 10月8日(月) 午前8時30分受付～午後1時
- 場 所 有明山神社集合(安曇野市穂高有明 7271)
- 定 員 60名(申込先着順)
- 内 容 有明山神社を起点に魏石鬼窟、正福寺、宮城第一発電所、中房川などを訪ね歩き、散策後には“ぬかくど”で炊いたおむすびを味わって、参加者の交流を深めます。
- 参加費 1名 1,000円(おむすび代、資料代、保険代等)
- 主 催 NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団
- 共 催 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
- 後 援 安曇野市、安曇野環境市民ネットワーク、信濃毎日新聞社、市民タイムス
- 申込み 10月5日迄に公式サイトまたは事務局へFAX、郵送
- 問合せ NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団  
〒399-8304 安曇野市穂高柏原 1132-2  
(有)ライフポート安曇野内 Tel 0263-81-1325(平日 午前9時～午後6時)  
URL: <http://azumino-furusato.com>

### ● 緑のカーテン広げようコンサート

- 日 時 10月13日(土) 開場 午後6時 開演 午後6時30分
- 場 所 礫山公園 研成ホール
- 入場料 1,000円(当日 1,300円)
- 出演者 弦楽四重奏団 音喜楽アンサンブル
- 内 容 演奏曲目 ♪愛の喜び ♪ファランドール ♪秋の歌メドレー 他  
みんなで歌いましょうコーナーもあります
- 主 催 NPO 法人 あずみ野風土舎
- 後 援 安曇野市教育委員会 市民タイムス
- 問合せ 磯野 Tel 090-5437-4155

### ● 明科いいまちサロン(第62回) 明科いいまちつくろうかい!! 5周年記念 歴史講演会

安曇野への文化の入り口は何処か?

古代から中世にかけて、安曇野への人や文化、物流の流れはどの様だったのでしょうか?  
そして明科になぜ信濃最古の寺院が建立されたのでしょうか?

安曇野の古代からの歴史を“道”から考える新しい視点で探ります

- 日 時 10月30日(火) 午前10時～正午
- 場 所 明科公民館 講堂
- 講 師 原明芳さん(安曇野市豊科郷土博物館 館長)
- 参加費 300円(お茶受けは当日のお楽しみ)
- 申込み 不要
- 主 催 明科いいまちつくろうかい!!
- 共 催 明科公民館
- 問合せ 明科公民館 Tel 0263-62-4605



### お知らせ

くるりん広場に印刷機が設置されました。ご活用下さい。

- 用紙 持ち込み
- 単価 マスター：30円、インク(A4・B5) 0.5円、インク(A3・B4) 1円

### 安曇野市民活動サポートセンター

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 毎週日曜日  
年末年始 12月29日～1月3日  
住所 〒399-8303 安曇野市穂高 6658  
電話/FAX 0263-82-1922  
E-mail [azumino-skc@bz03.plala.or.jp](mailto:azumino-skc@bz03.plala.or.jp)  
URL <http://azumino-skc.net/>

